

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年5月26日(金) NO6 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

念ずれば 花開く

「念ずれば、花開く」という言葉を聞いた事があるでしょうか。この言葉は熊本県の詩人 坂村真民（さかむらしんみん）という人の詩の一節に出てくるものです。「念ずれば花開く」とは、ただ念じていれば、願いをしていれば、夢や希望が叶うという意味ではありません。本当の意味は、一生懸命祈るように「努力する」ことで自ずと道が開ける、夢や目標が叶うという意味です。「念」という漢字を分解すると「今」と「心」という漢字が出てきます。これは「今」の思いや願いを自分の「心」に乗せ、目の前にあることを一生懸命やることの大切さを意味しています。すなわち「念ずれば、花開く」の言葉の裏には「今を大切に生きないと花（夢）は開かない」という教えが隠されているのです。スポーツの世界では「努力した者が成功するとは限らないが、成功した者はみな必ず努力している」という言葉もあります。確かに努力をしても敗れ去っていく者はたくさんいます。どんな競技でも、努力した結果が勝利に結びつくとは限りません。しかし、勝利した選手やチームは、みんな努力を積み重ねてきたことは言うまでもありません。また、「言霊」（ことだま）という言葉があります。言霊とは、言葉に宿る力のことで、実際に口にすることでその夢を実現できるという考えもあります。イチロー選手は小学校の作文で将来はプロ野球選手になって契約金は一億円と書いています。その後の、イチロー選手の活躍は皆さんご存じのとおりです。テレビで見ないことがない大谷翔平選手は、投手とバッターの二刀流をやっているのですが、確かに初めて聞いた時は漫画の世界だと思いました。しかし、彼が二刀流をやると断言した通りになっています。言霊とは大事なことだと思つづく思います。さて、夏の総合大会が迫ってきました。先日は男子バレー部が夏の大会のシード権を決める試合で、念願の地区優勝を果たしました。中学校に入学してから、バレーボールを始めたという生徒がたくさんいる中、必死の練習が実を結びました。その他の競技でも、中学生になって初心者で頑張っている生徒がたくさんいるようです。納得のいく結果が出るように念じてください。そして、それに見合うだけの練習を積んでください。併せて、必ず勝つという気持ちを口にして表現してみましょう。やる前から負けていては結果はついてきません。3年生の皆さん。「念ずれば花開く」です。